

スキー教室を終えて

「変化」

1年B組 U A

このスキー教室では、様々な変化があった。

まず一番大きいのはスキーに対する変化だろう。スキー教室に行く前、スキーをすることが怖かった。滑るのは約一年ぶりなのに経験があるチームに入ってしまったからだ。一日目の講習が始まると、リフトが怖くなった。さらに転んで起き上がれなくなると、転ぶことも怖くなった。しかし、その後起き上がり方を教えてもらおうと、転ぶことは怖くなくなった。というより、すぐ立ち上がれて不安が消えた。スローガンにもあるとおり、「転ぶの上等」と思えたのだ。リフトも、一度一人だけで乗ってみると、降りるときのコツをつかみ、三人で乗っても転ばずに降りられるようになった。その時から、リフトは楽しいものになり、二日目には十七回も乗ることができた。転んでも大丈夫で、リフトも乗れて、さらに止まることができるようになると、いよいよスキーは楽しいものへと変化した。

次に二つ目の変化だが、変化というより、仲が深まったという言い方をしよう。私は自分の目標として「仲間と講師の方と先生方と仲を深める」というものがあつた。仲間と仲が深まったと思うのは、講習班でのスキー中の会話や昼食の時の会話、閉校式で雪玉を作った時などだ。夜には同じクラスの友達とカードゲームをして仲を深められた。

講師の山田先生は、講習が始まってすぐにリフトに乗ったり、転んだ時も起き方を言うだけだったり少し怖い部分があつた。だがそれは最初だけで、私のスキーを「できている」と認め、さらに「これもある」と可能性を広げてくれた。分かりやすくて確かなアドバイスは、私にとってのスキーを楽しいものに変えてくれた。三日目最後の講習が終わり、感謝を伝えに行ったとき、「一人前に上達したな。もう怖くないだろう。」と言ってくれた。少し怖かった山田先生への印象は信頼へと変わっていた。

講習班のみんなも「マスター」と呼んで慕い、楽しい講習をつくっていった。先生方とは、スキーやカードゲームを通してたくさん会話ができた。西澤先生とナンジャモンジャをしたり、岩田先生とトランプをしたり、佐藤先生とは一緒にリフトに乗ることができた。めったにできない先生方との交流はとても楽しかった。

スキー教室でたくさんの気持ちが行く前より良いものに変化した。実行委員としての役割も果たすことができ、何よりすごく楽しめたスキー教室だった。

来週の予定

3/3(月)	①～④平常時程
3/4(火)	①～⑤平常時程 専門・中央委員会
3/5(水)	①～④平常時程 保護者会
3/6(木)	①～⑥平常時程 ESAT-J あり
3/7(金)	①～④平常時程 ⑤前日準備
3/8(土)	文化発表会（弁当持ち）

★スキー教室の写真申し込み、締め切り3/9（日）までです。

